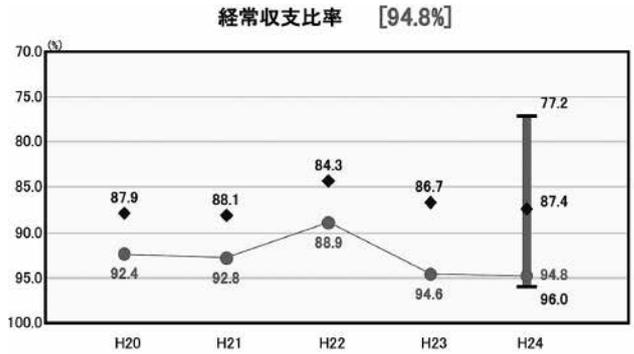


質問(星雅人議員)
 職員採用試験における
 欠格条項を撤廃し、採用試
 験を受ける人に応じた合
 理的配慮を行うべきと考
 えるが市の考えを伺いま
 す。

については、法律により
 2・3%の法定雇用率の確
 保が義務付けられており、
 本市の雇用率は2・3%で、
 法定雇用率を満たし、積極
 的に障害者枠での一般事
 務の職員募集を行ってき
 ています。しかし、障害者
 枠の採用試験の応募要件

は、身体障害者手帳の交付
 者で、自力通勤が可能で介
 助者無し勤務ができ、活字
 印刷の試験問題に解答が
 できる方としており、視覚
 障害、知的障害者は応募が
 できないのが現状です。
 点字試験の実施など、応
 募要件緩和については将
 来的な課題と考え、庁内で
 様々な障害者が活躍出来
 る分野などの条件整備が
 可能かどうかを検討して
 いきます。

星雅人議員
**障がい者の職員採用試験における
 欠格条項の撤廃について**



財政構造の弾力性を表す経常収支比率の推移を示したグラフ

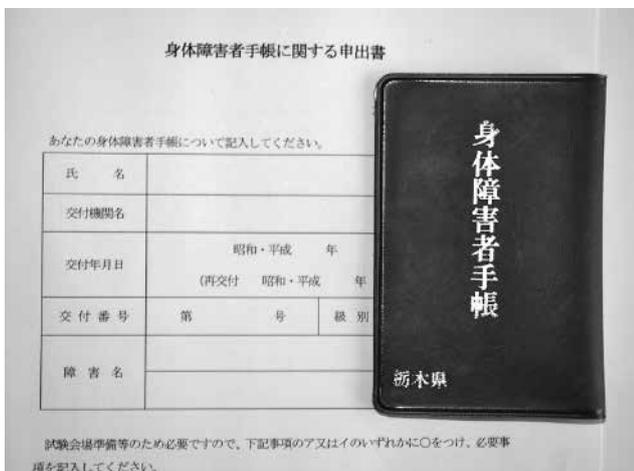
● …大田原市の値
 ◆ …類似団体内の平均値
 ■ …類似団体内の最大値及び最小値

小野寺 尚武 議員
市の財政分析と運営の現状

質問(小野寺尚武議員)
 平成25年度も含め、過
 去の年度の財政分析をど
 のようにとらえて活用し
 ているのか、また、これら
 を新年度予算編成にどの
 ように活かしていく考え
 なのか伺います。

本市の財政
 指標のうち、適正値を超
 えているのは経常収支比率であ
 り、基準を超え高止まり
 傾向で推移しています。
 要因は、一般財源が伸
 び悩む一方で、義務的経
 費の増加によるものと分
 析しています。今後もち
 の傾向が続くと、更なる
 財政の硬直化も懸念され

るため、毎年の予算編成
 方針においては、具体的
 な数値を示すとともに、
 予算編成の基本的事項の
 一つとして、すべての事
 務事業の見直しによる経
 費の節減に取り組んでい
 きます。また将来の財政
 負担を考え、地方債の発
 行については合併特例債
 及び臨時財政対策債以外
 の発行を可能な限り縮減
 する必要があります。



職員採用試験申込時に提出する
 身体者障害手帳に関する申出書(一部抜粋)